

## 中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

| 法人名等                       |           | 目標の内容・実績   |   |   |  |   |
|----------------------------|-----------|--|---|---|--|---|
| 【法人名】<br>公益社団法人埼玉県農林公社     | 目標        | 農地中間管理事業の転貸面積  | 就農予備校等の受講者数   | 分収林の整備面積  | 農林公園の利用者数  | 収益事業収入  |
|                            |           | 【令和5年度目標】<br>2,200ha   | 【令和5年度目標】<br>70人  | 【令和5年度目標】<br>160ha  | 【令和5年度目標】<br>126.0千人   | 【令和5年度目標】<br>37,000千円   |
|                            |           | 【令和6年度目標】<br>2,400ha   | 【令和6年度目標】<br>70人  | 【令和6年度目標】<br>160ha  | 【令和6年度目標】<br>126.8千人   | 【令和6年度目標】<br>37,100千円   |
|                            |           | 【令和7年度目標】<br>2,600ha   | 【令和7年度目標】<br>70人  | 【令和7年度目標】<br>160ha  | 【令和7年度目標】<br>127.7千人   | 【令和7年度目標】<br>37,200千円   |
|                            | 各年度の実績    | 【令和5年度実績】<br>1,415ha   | 【令和5年度実績】<br>67人  | 【令和5年度実績】<br>193ha  | 【令和5年度実績】<br>140.5千人   | 【令和5年度実績】<br>40,161千円   |
| 【中期経営計画の期間】<br>令和5年度～令和7年度 | 法人による自己評価 | <p>新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行したことで地域での話し合いが徐々に再開されるようになったが、実質的にゼロからのスタートとなる地域が多く、目標には届かなかった。</p> <p>今後も引き続き、地域計画の策定に伴う話し合いに積極的に参加し、事業を推進するほか、地域を単位とした面的集約を図る。</p> | <p>休日就農相談会、就農支援セミナーなどの機会を通じて、就農に向けた公社プログラムの説明・周知を図るほか、ホームページを活用した情報発信を行い、受講生の増加に努めた。</p> <p>今後も引き続き、就農予備校について広く周知し受講生の増加に努める。</p> | <p>平成30年度から植栽をとりやめたことにより、保育事業は徐々に減少しているが、生育状況に応じた枝打や保育間伐など適切な施業を行う必要がある。</p> <p>令和5年度は、搬出間伐を試行的に実施したほか、除伐等必要な箇所を考慮した。</p> <p>財源については、緑の用途限定募金の受入が増加したことから計画を上回る施業を行うことができた。</p> | <p>SNS等を活用したこまめな情報発信に努めるとともに、園内で収穫した農産物を使った料理教室の開催回数を増加させた。</p> <p>また、休日の天候に恵まれ、農業体験実施回数が増加し、利用者数が増加した。</p> <p>(参考)利用者数＝農産物直売所利用者＋研修室等利用者数＋学習体験等参加者数</p> | <p>収益事業の柱は、農林公園農産物直売所の販売収入であるが、埼玉ブランド農産物のほか、有機JAS認証取得農産物等を取り扱う等、多様なニーズに対応したことなどにより利用者及び販売額が増加した。また、SNS等で情報をこまめに発信したことや、休日の天候に恵まれイベントを実施できたこと等により目標を大幅に達成することができた。</p> |